
2012年3月期 第2四半期 決算説明会

2011年11月25日

株式会社 **クロスキャット**

Cross Computer Application Technology

決算の概要



2012年3月期第2四半期決算の概要(対予想比)

(単位:百万円、%)

	期初予想		2012年3月期 第2四半期累計		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	3,400	100.0	3,536	100.0	4.0
売上総利益	595	17.5	604	17.1	1.5
販売管理費	570	16.8	535	15.1	▲6.1
営業利益	25	0.7	68	1.9	174.4
経常利益	25	0.7	79	2.3	219.6
四半期純利益	14	0.4	32	0.9	130.9

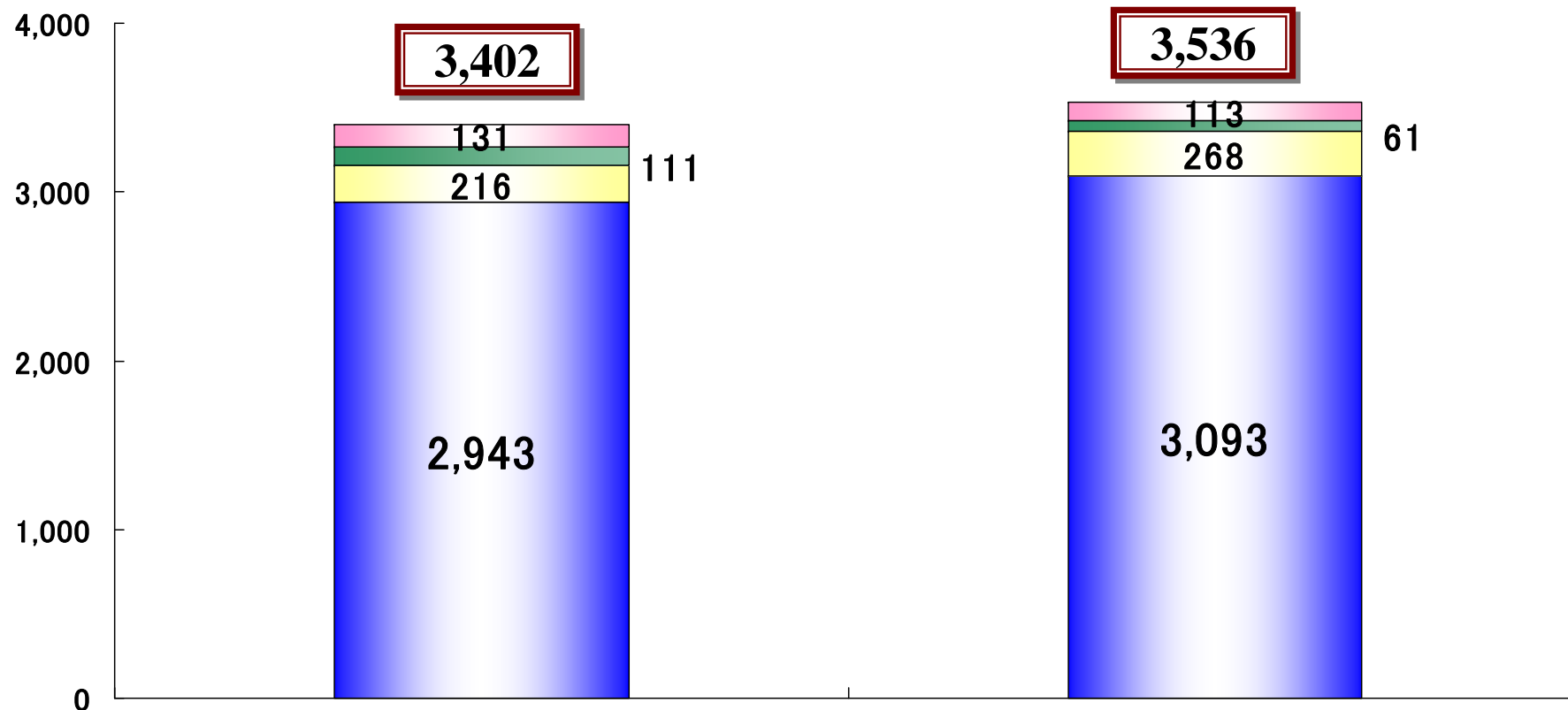
2012年3月期第2四半期決算の概要 （前年同期・連結と比較）

（単位：百万円、％）

	前年同期 （連結）		当期 第2四半期累計 （単体）		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	3,402	100.0	3,536	100.0	3.9
売上総利益	608	17.9	604	17.1	▲ 0.7
販売管理費	573	16.9	535	15.1	▲ 6.6
営業利益	34	1.0	68	1.9	98.1
経常利益	36	1.1	79	2.3	120.0
四半期純利益	89	2.6	32	0.9	▲63.7

事業別売上高

(百万円)



10年9月期 連結

11年9月期 単体

■ システム開発

■ BIビジネス

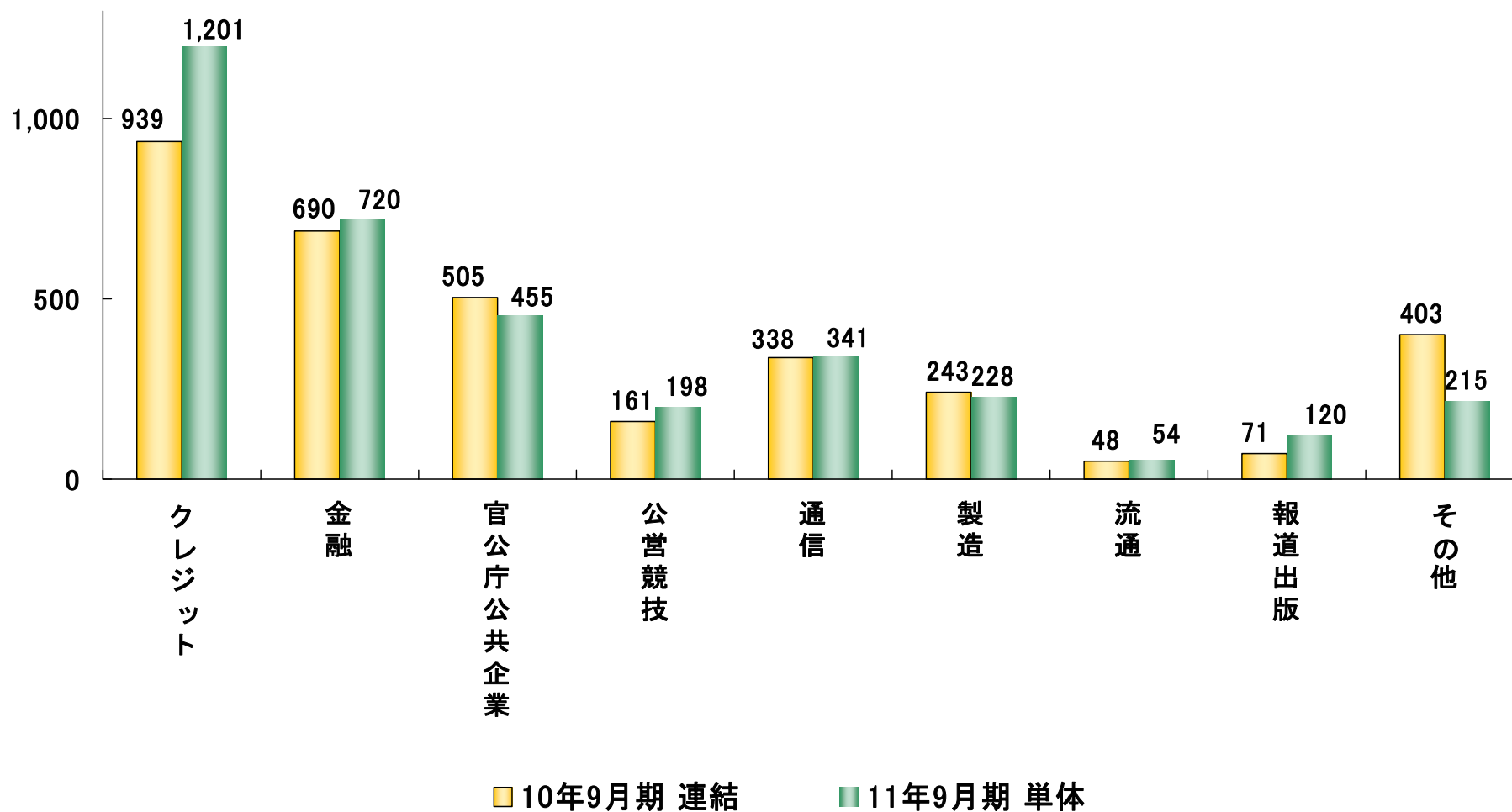
■ その他

■ スタッフサービス

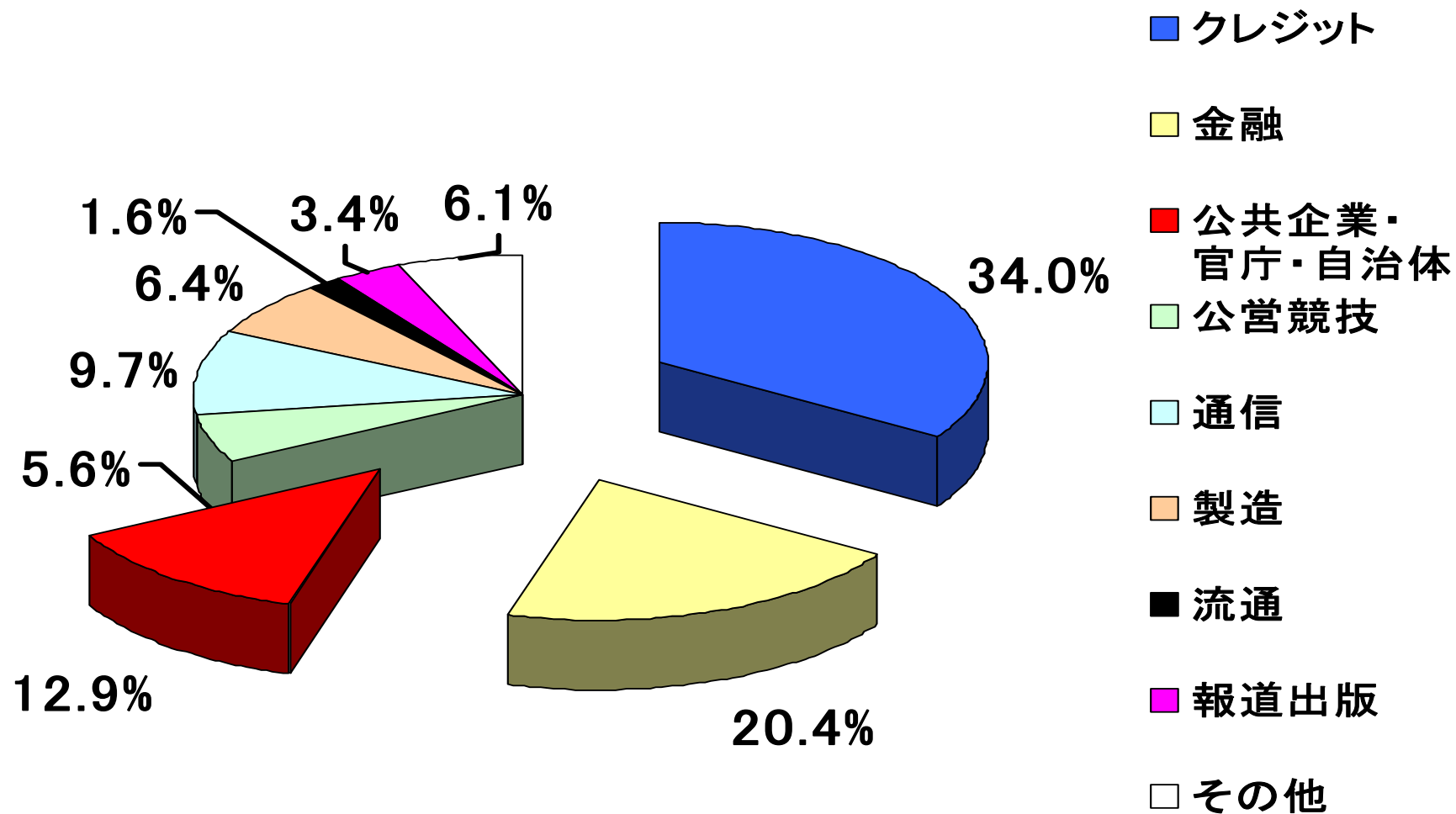
システムソリューション

業種別売上高

(百万円)



業種別売上高 構成比



2012年3月期の見通し



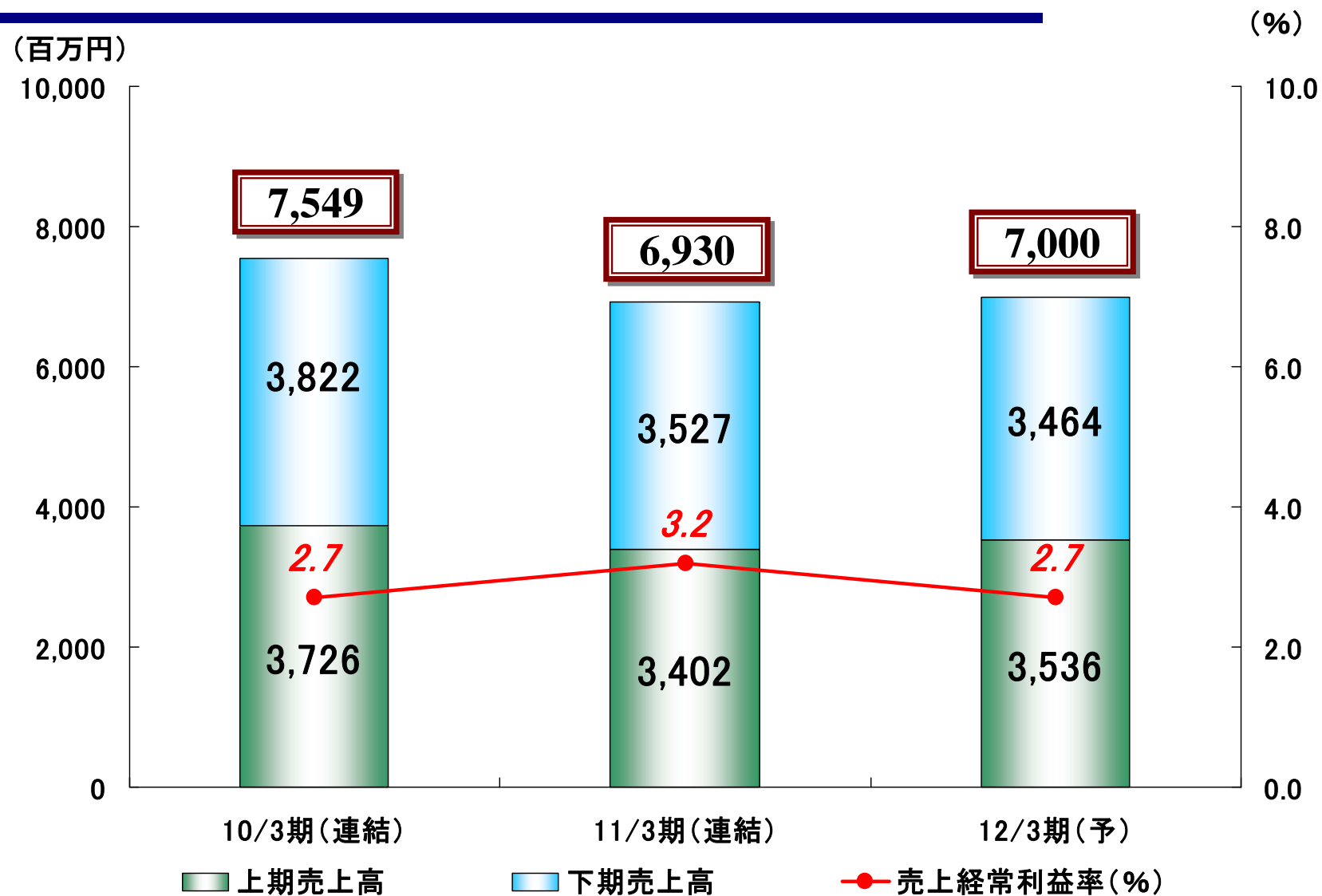
2012年3月期決算予想の概要

(注) 連結と単体で比較

(単位: 百万円、%)

	2011年3月期 連結		2012年3月期 単体 (予)		
	金額	対売上比	金額	対売上比	増減比
売上高	6,930	100.0	7,000	100.0	1.0
売上総利益	1,238	17.9	1,230	17.6	▲0.7
販売管理費	1,058	15.3	1,050	15.0	▲0.8
営業利益	180	2.6	180	2.6	0.0
経常利益	218	3.2	190	2.7	▲13.0
当期純利益	198	2.9	110	1.6	▲44.6

売上高、経常利益率の推移(通期予想)

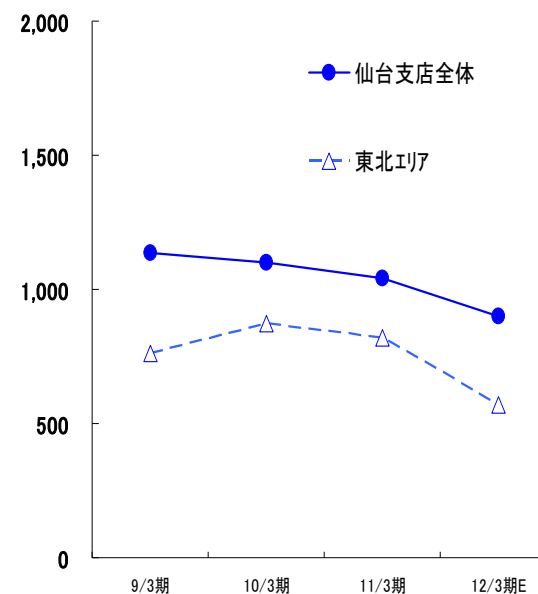


東日本大震災の影響



東北エリアにおける売上高

(百万円)



東日本大震災の影響

- ・ 仙台支店が被災し、6月に新事務所へ移転
- ・ 製造業は持ち直し傾向も単価が厳しい
- ・ 自治体関連も徐々に回復傾向
- ・ 首都圏の仕事で売上確保を目指す

今後の展望



事業環境

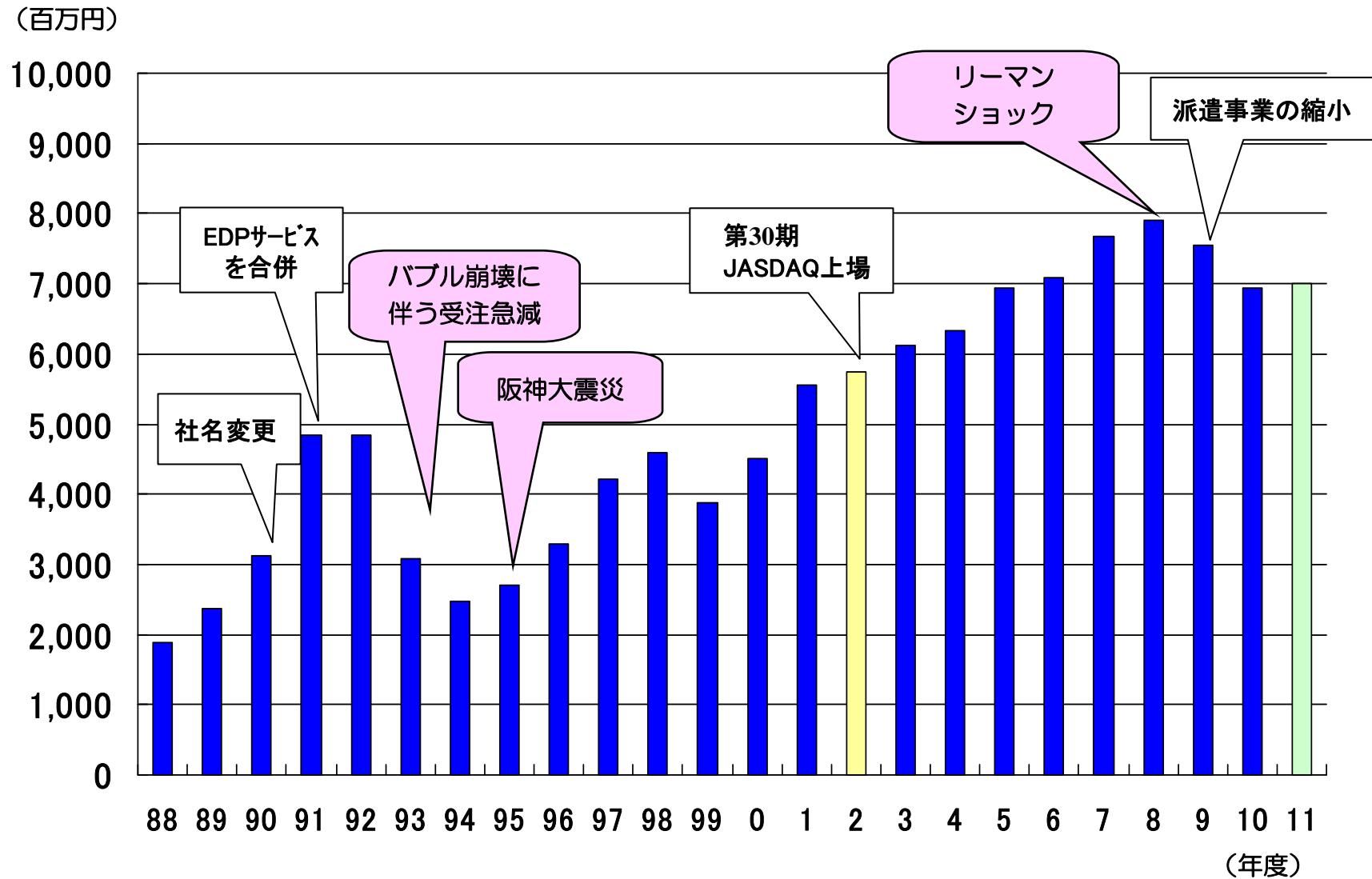
ユーザー動向

- 「システムの所有から利用へ」
～クラウドコンピューティングへの関心の高まり
- コスト削減要求の高まり
～オフショア開発の要請
- 提案力の有無による選別強化

業界構造

- ユーザー及び大手ITベンダーによるパートナーの選別強化
- 下請けの多層構造の解消
- 零細ソフトハウスの淘汰

売上高 推移



中期経営方針 顧客起点に立ったITサービス企業を目指して

Brights 2014 Vision



中期経営方針の施策

成長エンジン

- ・戦略領域の強化
- ・グローバル展開

営業の変革

- ・顧客価値の創造
- ・利益、キャッシュフロー重視

開発プロセスの変革

- ・顧客からの信頼強化／維持
- ・サービスレベル向上

人材育成

- ・プロフェッショナル人材の育成
- ・各種スキル向上

経営基盤の強化

- ・戦略調達の推進
- ・管理費効率化

新商品の開発

CC - Quattro

クレジット ソリューション

国際ブランドカード(VISA、Master)システムを
短期導入・廉価・安心運用サポートをパッケージとして提供

Budget Runner

BI ソリューション

予算管理BIソリューションを中堅企業をターゲットに
OSS(Open Source Software)にて提供

CC-BizMate

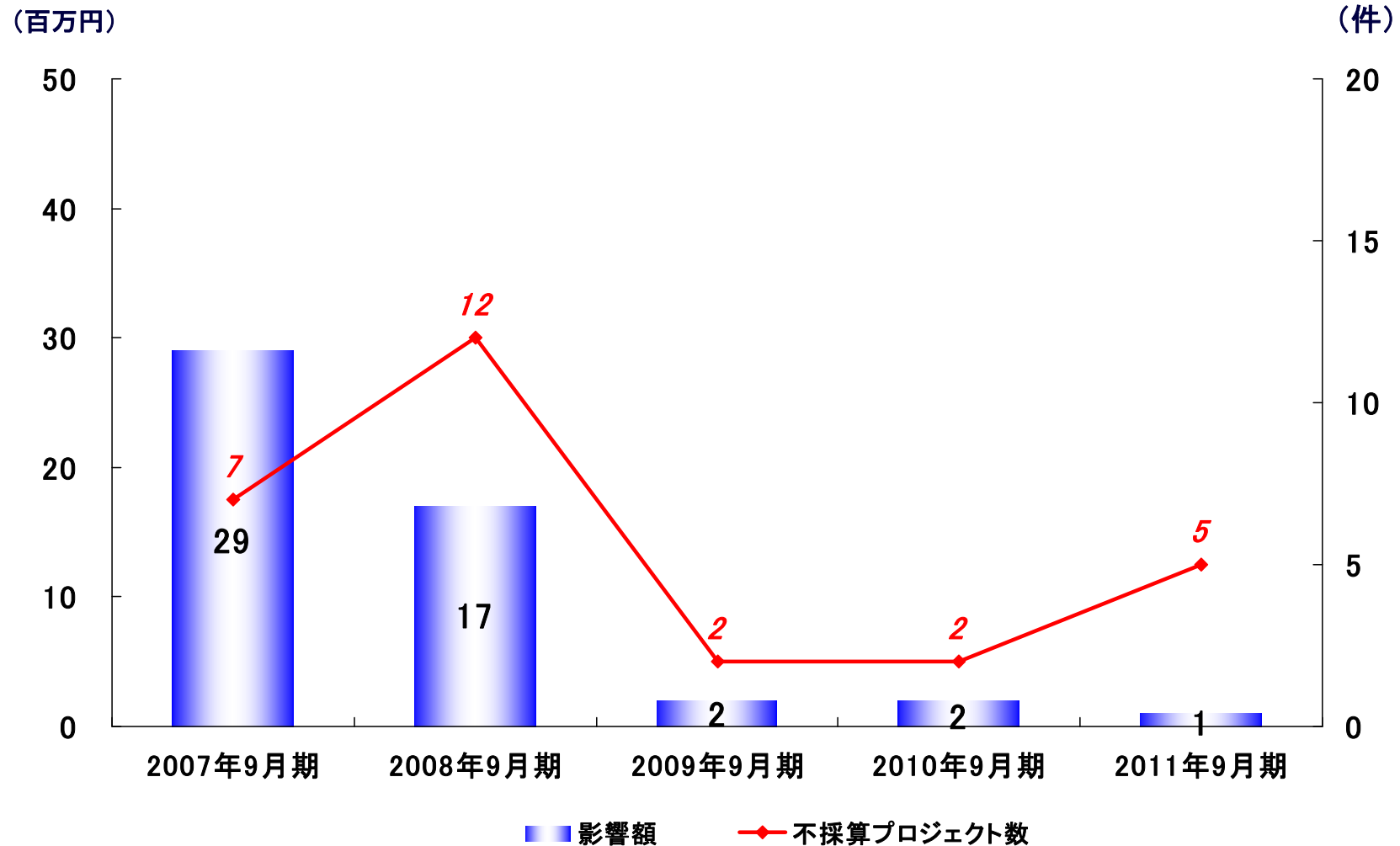
SaaS ソリューション

勤怠管理システムをクラウドにて提供(マイクロソフトAzure)

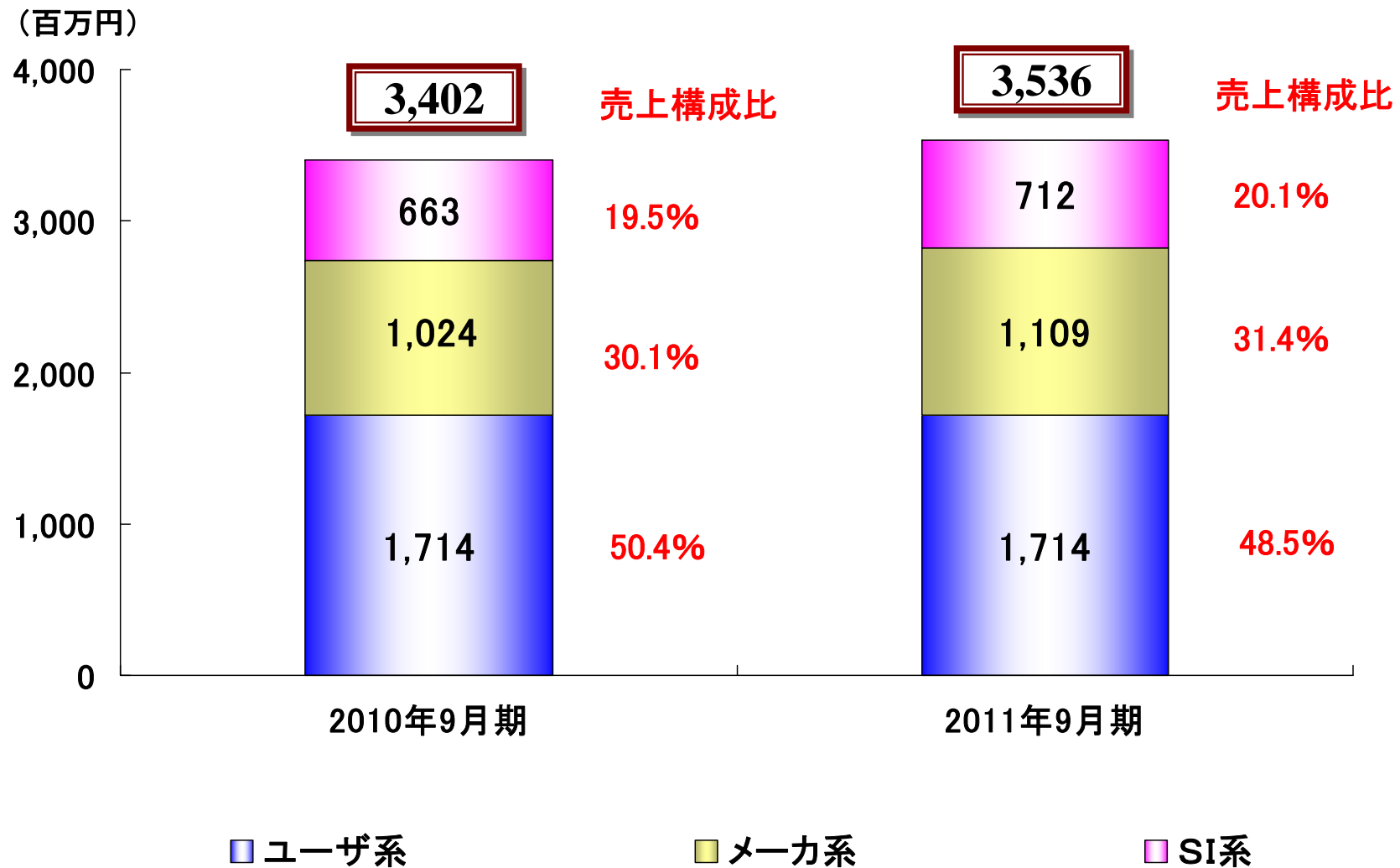
上期実績の補足説明



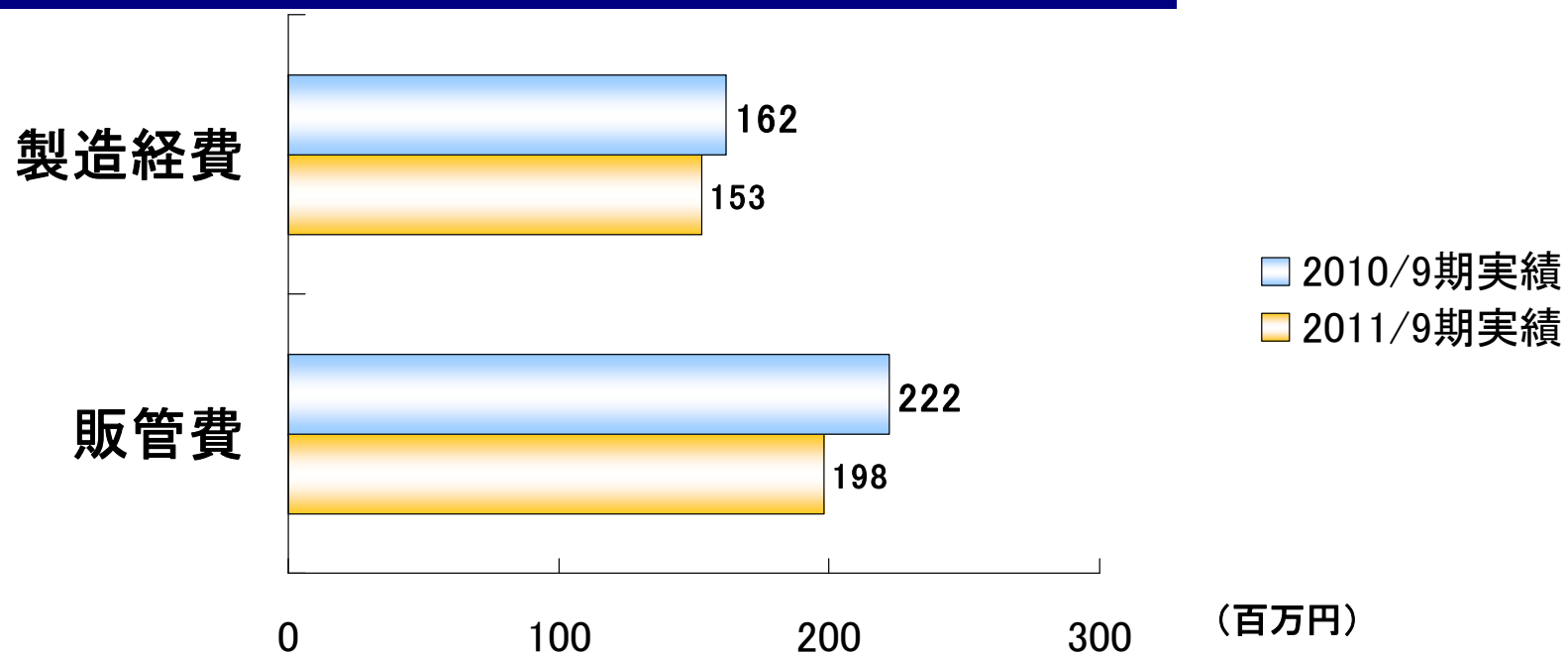
不採算プロジェクトの金額と件数



契約先別売上高 (全事業を対象に変更)



経費削減の取組み（人件費は除く）



（製造経費）仙台の首都圏シフトとオフショアで出張費等が増加（5百万）も

経費削減に努め、前期比 9百万円の減少

（販管費） 研究開発費（25百万）が増加したが、

経費削減に努め、前期比 24百万円の減少

営業利益の増減要因分析(対前年同期比)

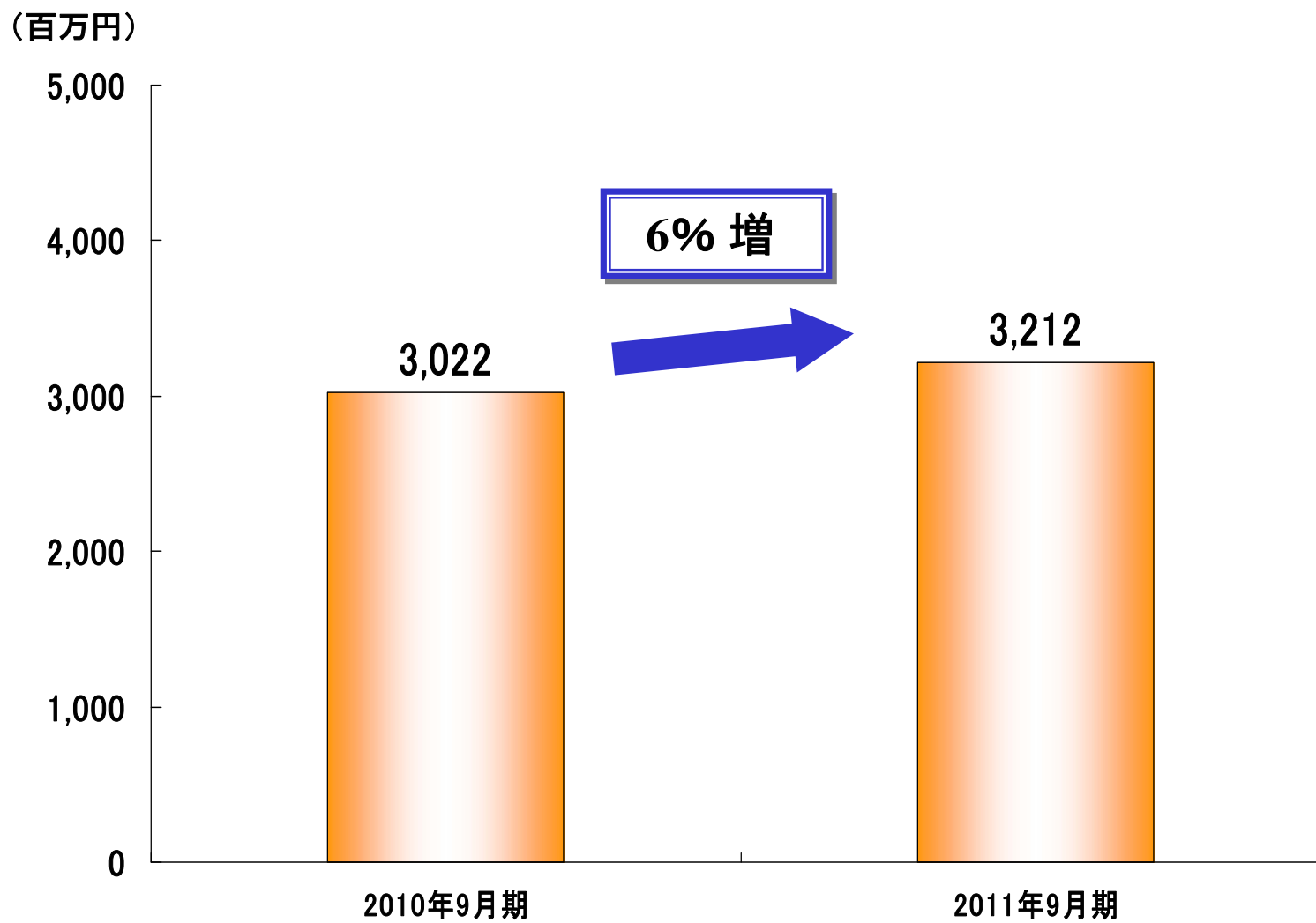
(百万円)

営業利益	2010年9月期(連結)	2011年9月期	増減額
	35	69	34
売上高の増加		+29	売上総利益 ▲1百万円
製造経費の削減等		+9	
受注単価の下落等		▲39	
研究開発、震災対応の増加		▲30	販管費・減少 +25百万円
新人教育外部委託縮小、経費の削減等		+55	
子会社の整理による改善		+10	子会社の整理 +10百万円
計		34	

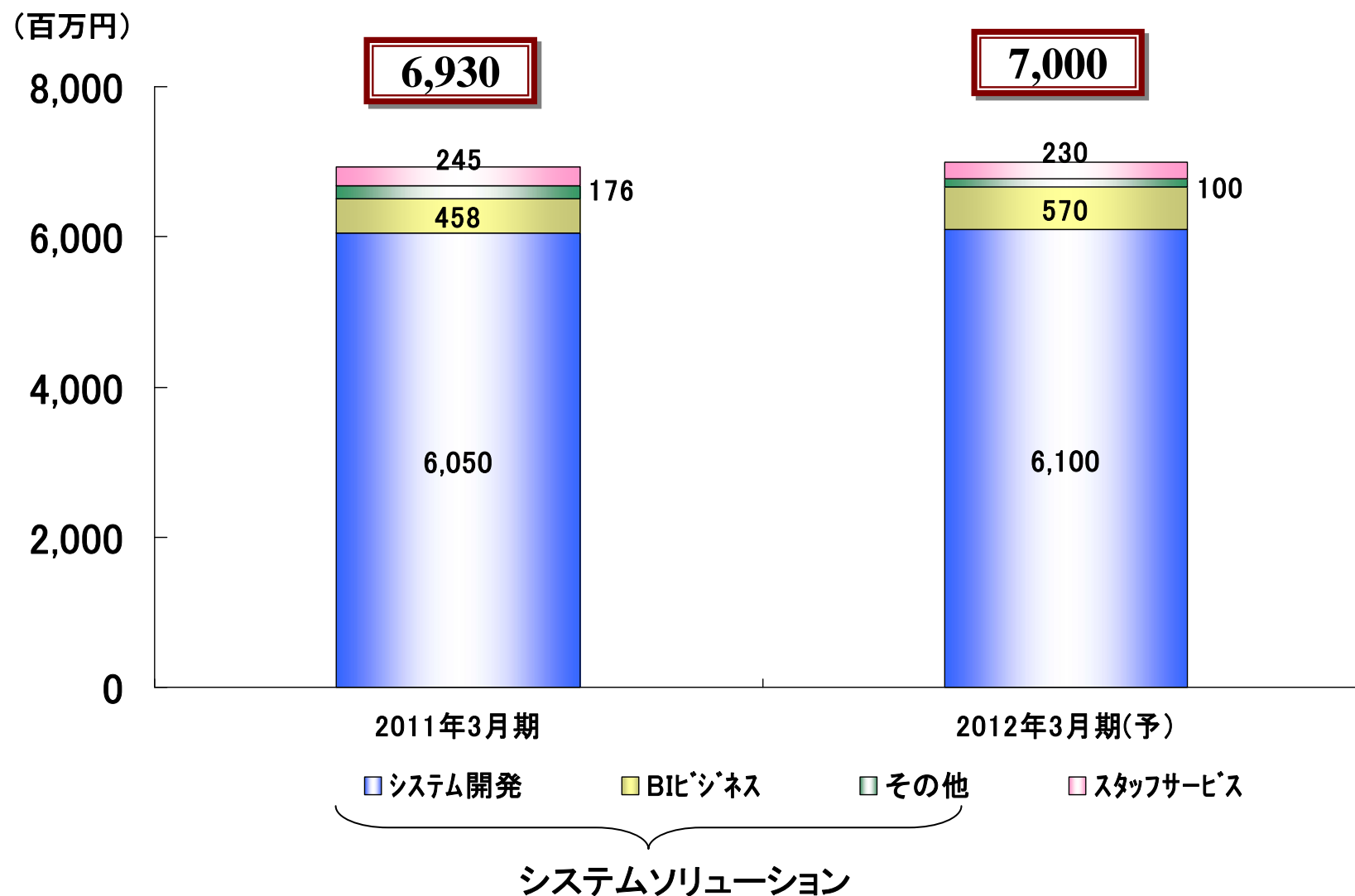
通期予想の補足説明



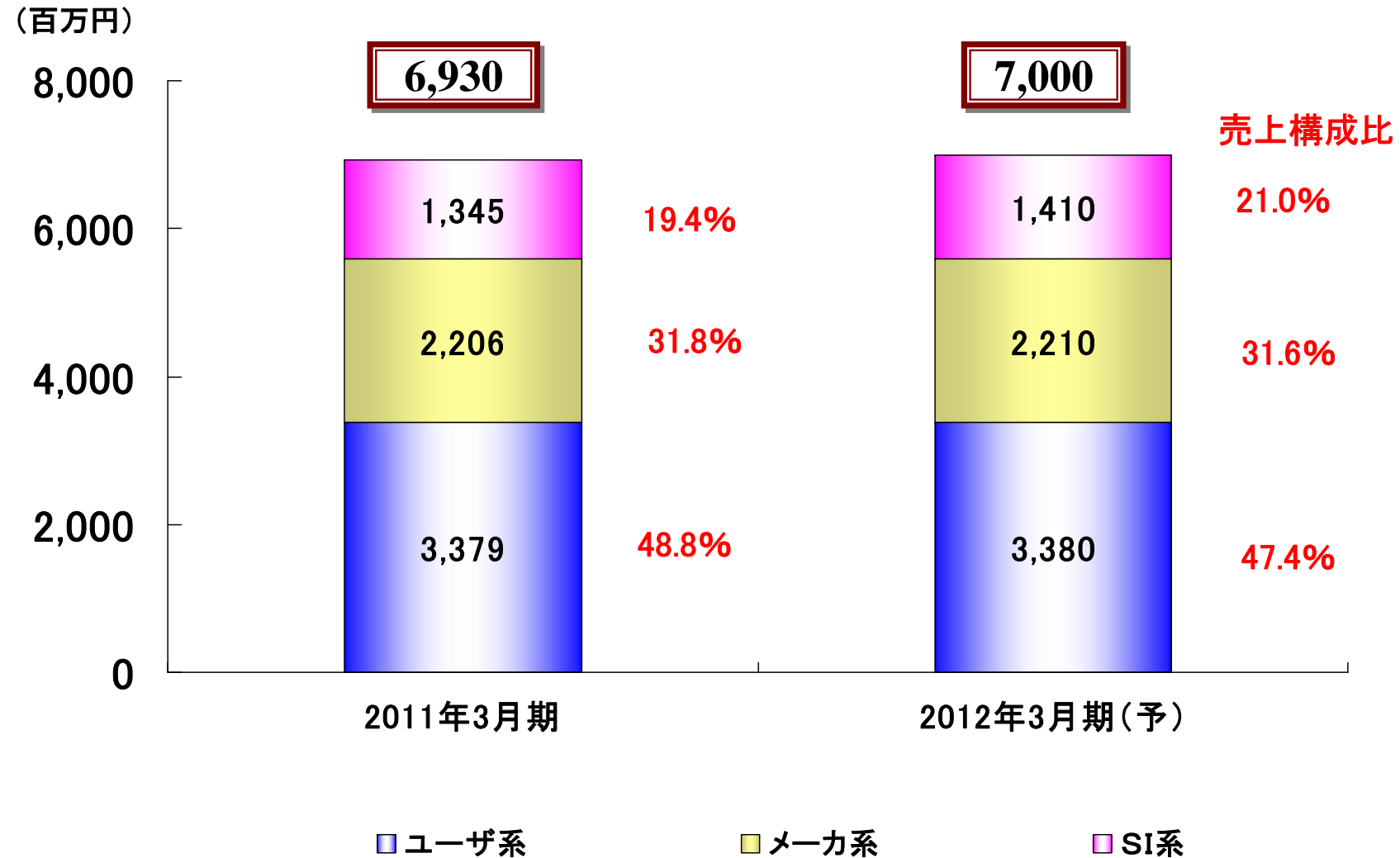
受注残(システムソリューション)



事業別売上高



契約先別売上高 (全事業を対象に変更)



* 本資料についてのご注意

本資料は、当社の業績および今後の業績見通し、経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に掲載されている将来予想に関する事項は、現時点における情報に基づき当社が判断したものであり、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における状況変化等により変動することがあります。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。